



医薬品・医療機器等安全性情報 No. 265

在宅酸素療法における火気の取扱いについて

酸素は、支燃性（燃焼を助ける性質）が強いガスであるため、在宅酸素療法に使用する酸素濃縮装置、液化酸素及び酸素ボンベ（以下「酸素濃縮装置等」という）については、その添付文書や取扱説明書等において【警告】として「装置運転中は、火気を近づけないでください（火傷、火災のおそれがあります）」等と記載し、注意喚起をしてきた。しかしながら、酸素濃縮装置等を使用中の患者が、喫煙等が原因と考えられる火災により死亡するなどの事故が繰り返し発生しているため、各都道府県衛生主管部（局）長を經由し、在宅酸素療法を受けている患者やその家族等に、在宅酸素療法における火気の取扱いに関する注意喚起を継続的に行うことについて医療機関に周知した。注意すべき点について紹介する。

重要な副作用等に関する情報

以下の医薬品使用上の注意のうち、重要な副作用等について改訂（追加）したので内容を紹介します。

ソラフェニブチル酸塩（商品名：ネクスバル錠）＜抗腫瘍剤＞

【重要な基本的注意】肝不全があらわれることあり。主に肝細胞癌又は肝硬変のある患者において肝性脳症が報告されているので、これらの患者に投与する際は、血中アンモニア値等の検査を行うとともに、意識障害等の臨床症状を十分観察。

【重大な副作用】肝不全、肝性脳症

肝性脳症は主に肝細胞癌又は肝硬変のある患者において報告されているので、これらの患者に投与する際は、意識障害等の臨床症状を十分観察。

肝不全、肝性脳症：20例（うち死亡6例）（平成20年4月～平成21年10月31日）

アリピプラゾール（商品名：エビリファイ錠）＜精神神経用剤＞

スピベロン（商品名：スピロピタン散、錠）＜精神神経用剤＞（当院未採用）

スルピリド（商品名：ドグマチール細粒、錠、カプセル等）＜精神神経用剤＞

ゾテピン（商品名：ロドピン細粒、錠等）＜精神神経用剤＞

ネモナブリド（商品名：エミレース細粒、錠）＜精神神経用剤＞（当院未採用）

ピバンペロン塩酸塩（商品名：プロピタン散、錠）＜精神神経用剤＞（当院未採用）

ピモジド（商品名：オーラップ錠）＜精神神経用剤＞

モベロン塩酸塩（商品名：ルバトレン散、錠）＜精神神経用剤＞（当院未採用）

【重大な副作用】無顆粒球症、白血球減少

十分観察、異常が認められた場合、投与中止など適切な処置。

無顆粒球症、白血球減少：8例（うち死亡1例）

（平成18年4月1日～平成21年7月10日）

タンドスピロンクエン酸塩（商品名：セディール錠等）＜催眠鎮静、抗不安剤＞

【重大な副作用】悪性症候群

抗精神病薬、抗うつ薬等との併用、あるいは本剤の急激な減量・中止によりあらわれることあり。発熱、意識障害、強度の筋強剛、不随意運動、発汗、頻脈等があらわれた場合には、体冷却、水分補給等の適切な処置。白血球の増加や血清CK(CPK)の上昇がみられることが多く、ミオグロビン尿を伴う腎機能低下がみられることあり。

悪性症候群：1例（うち死亡0例）（平成18年4月1日～平成21年10月14日）

オランザピン(商品名:ジブレキサ錠) <精神神経用剤>

リスペリドン(経口剤)(商品名:リスパダール細粒、錠、内用液等) <精神神経用剤>

リスペリドン(注射剤)(商品名:リスパダールコンスタ筋注用) <精神神経用剤>

【重要な基本的注意】低血糖があらわれることがあり、本剤投与中は、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状に注意するとともに、血糖値の測定等十分観察。高血糖症状、低血糖症状(脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等)に注意。

【重大な副作用】無顆粒球症、白血球減少

十分観察、異常が認められた場合、投与中止など適切な処置。

低血糖

脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状が認められた場合、投与中止、適切な処置。

無顆粒球症、白血球減少：6例(うち死亡0例)

(平成18年4月1日～平成21年7月10日)

低血糖：2例(うち死亡0例)(平成18年4月1日～平成21年11月6日)

クエチアピンフマル酸塩(商品名:セロクエル錠) <精神神経用剤>

【重要な基本的注意】低血糖があらわれることがあり、本剤投与中は、脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状に注意するとともに、血糖値の測定等十分観察。高血糖症状、低血糖症状(脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等)に注意。

【重大な副作用】低血糖

脱力感、倦怠感、冷汗、振戦、傾眠、意識障害等の低血糖症状が認められた場合、投与中止、適切な処置。

低血糖：2例(うち死亡0例)(平成18年4月1日～平成21年11月6日)

医薬品・医療機器等安全性情報は、医薬品医療機器情報提供ホームページ(<http://www.info.pmda.go.jp/>)又は厚生労働省ホームページ(<http://www.mhlw.go.jp/>)からも入手可能。

「劇薬」指定解除のお知らせ

ロキソニン錠 60mg(一般名:ロキソプロフェンナトリウム水和物) <鎮痛・抗炎症・解熱剤>

2010年1月20日より「劇薬」の指定解除。

院内副作用報告

2009年12月に報告された副作用情報

医薬品	副作用名
オムニパーク 300 注シリンジ 100mL	血圧低下
アンヒバ坐剤小児用 100mg	Drug-induced hypersensitivity syndrome (DIHS)

新規採用常備医薬品等のお知らせ

平成22年1月25日に開催された薬事委員会において、新規常備医薬品21品目、剤形・規格追加医薬品6品目、切り替え医薬品14品目、削除医薬品50品目が承認されました。詳細につきましては、紙面末に医薬品集の追補版とともに掲載しています。

「効能・効果」、「用法・用量」追加のお知らせ

バップフォー錠 10mg(一般名:プロピペリン塩酸塩) <尿失禁・頻尿治療剤>

【効能・効果】過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁

【用法・用量】効果不十分の場合、20mgを1日2回まで増量できる。

ビ・シフロール錠 0.125mg、0.5mg(一般名:プラミペキソール塩酸塩水和物) <ドパミン受容体刺激剤>

【効能・効果】中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)

【用法・用量】0.25mgを1日1回就寝2~3時間前に投与。1日0.125mgより開始し、1日0.75mgを超えない範囲で適宜増減。増量は1週間以上の間隔をあける。

ヒュミラ皮下注 40mg シリンジ 0.8mL(一般名:アダリムマブ(遺伝子組換え))

<ヒト型抗ヒトTNF モノクローナル抗体製剤>

【効能・効果】既存治療で効果不十分な尋常性乾癬及び関節症性乾癬

【用法・用量】初回80mg、以後2週に1回40mgを皮下注。1回80mgまで増量可。

献血ベニロン-I 静注用 500mg、2500mg(一般名:乾燥スルホ化人免疫グロブリン) <免疫グロブリン製剤>

【効能・効果】チャージ・ストラウス症候群、アレルギー性肉芽腫性血管炎における神経障害の改善(ステロイド剤が効果不十分な場合に限る)

【用法・用量】1日400mg/kgを5日間点滴静注。

メロベン点滴用バイアル 0.5g(一般名:メロベネム) <カルバベネム系抗生物質製剤>

【効能・効果】発熱性好中球減少症

【用法・用量】1日3gを3回に分け、30分以上かけて点滴静注。小児:1日120mg/kgを3回に分け、30分以上かけて点滴静注、1日3gを超えないこと。

Drug Safety Update No.186 より使用上の注意改訂のお知らせ

改訂内容の重要度 : 最重要 : 重要 無印: その他

成分名(薬品名)	主な改訂内容
ガルダレソリン酸エステル (ガルダラ錠・静注用)	重大な副作用: 脳出血、肺出血
以外	その他の副作用: その他...粘膜障害
以外 (ガルダラ錠)	高齢者への投与: 本剤投与前に患者の状態及び臓器機能を十分に検討し確認。投与開始後は患者の状態を慎重に観察。
ビ・カクミド (カクミックス錠)	重大な副作用: 劇症肝炎
イブプロフェン (ブルフィン錠) ガルビプロフェン(経口剤) (フロベン錠) ガルビプロフェンアセキル (ロビワ静注)	重大な副作用: アナフィラキシー様症状...血管浮腫、蕁麻疹等があらわれた場合は投与中止、適切な処置。
プラミペキソール塩酸塩水和物 (ビ・シフロール錠)	効能・効果に関連する使用上の注意: レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)の診断は、国際レストレスレッグス症候群研究グループの診断基準及び重症度スケールに基づき慎重に実施、基準を満たす場合にのみ投与。 用法・用量に関連する使用上の注意: <中等度から高度の特発性レストレスレッグス症候群(下肢静止不能症候群)> 1日最大投与量(0.75mg)は、片・キソソ病変患者よりも低いため、クレアチンクリアランスが20mL/min以上の腎機能障害患者では減量の必要はないが、透析中あるいはクレアチンクリアランスが20mL/min未満の高度な腎機能障害患者における有効性及び安全性は確立していない

	<p>め、これら患者の投与については、治療上の有益性と危険性を考慮して慎重に判断。 慎重投与： ・腎機能障害のある患者（副作用が発現しやすくなる、主に尿中未変化体として排泄） ・重篤な心疾患又はそれら既往歴のある患者（副作用が発現しやすくなる） 重要な基本的注意： ・特異性β₁アドレナリン受容体拮抗薬患者においては、β₁-アドレナリン受容体拮抗薬より用量が低い場合、漸減しなくてもよい。 ・β₁アドレナリン受容体拮抗薬患者において、本剤を含めたβ₁アドレナリン受容体拮抗薬の投与により Augmentation（夜間の症状発現が2時間以上早まる、症状の増悪、他の四肢への症状拡大）が認められることがあるため、このような症状が認められた場合には、減量又は投与中止など適切な措置を講ずること。 併用注意：ドパミン 重大な副作用：悪性症候群...β₁-アドレナリン受容体拮抗薬患者において、本剤の急激な減量又は中止によりあらわれることあり。 その他の副作用：中枢・末梢神経系...浮動性めまい 消化管...悪心、胃不快感、上腹部痛 循環器...動悸 一般的全身障害...口渇 高齢者への投与：β₁-アドレナリン受容体拮抗薬患者を対象とした臨床試験において65歳以上の高齢者で非高齢者に比し精神症状の発現率が高い傾向が認められている。</p>
シクロソリン（点眼剤） （ピロピロクミン点眼液）	<p>重要な基本的注意：本剤を長期にわたり投与する場合は十分観察、漫然と投与しない。 副作用：眼...結膜充血 小児等への投与：低出生体重・新生・乳児に対しては使用経験がない。幼児に対しては使用経験が少ない。</p>
トホプロスト（トラバタズ点眼液）	<p>その他の副作用：眼...眼刺激、眼瞼障害（上眼瞼がくぼむ、二重瞼になる等）</p>
レボカサフィン塩酸塩（点鼻剤） （レボカサフィン点鼻液）	<p>併用注意：オキシメタゾリン 臨床症状・措置方法...本剤吸収低下 機序・危険因子...機序不明 副作用：鼻腔...鼻内刺激感（疼痛、乾燥、灼熱感、不快感）、鼻漏、鼻閉、くしゃみ、鼻浮腫 精神神経系...浮動性めまい 呼吸器...咽喉頭疼痛、咳嗽、呼吸困難、気管支痙攣 臨床検査...好酸球増加 感染症...副鼻腔炎 眼...眼瞼浮腫 循環器...頻脈 全身障害...疲労、倦怠感</p>
カルノ酸カリウム（ソルダクトン静注用） スピロラクトン （アルダクトンA錠・細粒） エプレレノン（セララ錠）	<p>併用注意：アリスクリン</p>
-ガラクトシダーゼ（ベニシウム） （ミラクト細粒）	<p>用法・用量に関連する使用上の注意：本剤は50℃以上では酵素力価が低下するため溶解温度に注意。</p>
インテリキマブ（遺伝子組換え） （レキケト点滴静注）	<p>慎重投与：重篤な血液疾患（汎血球減少、再生不良性貧血等）の患者又はその既往歴（血液疾患が悪化するおそれあり） 重大な副作用：重篤な血液障害...汎血球減少、血小板減少、顆粒球減少</p>
ダナゾール（ボソゾール錠）	<p>併用注意：シパスタチン、アトルバスタチンカルシウム水和物 臨床症状・措置方法...ミオパシー、横紋筋融解症発現。 機序・危険因子...本剤のCYP3A4阻害作用により、上記薬剤の代謝が阻害され、血中濃度上昇。</p>
イミダフェンジン（ステプラ錠）	<p>用法・用量に関連する使用上の注意： ・1回0.1mgを1日2回投与し、効果不十分かつ安全性に問題がない場合に増量を検討（1回0.2mg1日2回で投与開始した場合の有効性及び安全性は確立していない） ・中等度以上の肝障害のある患者については1回0.1mgを1日2回投与。 ・重度腎障害患者については、1回0.1mgを1日2回投与。 併用注意：抗コリン剤、抗ヒスタミン剤、三環系抗うつ剤、フェチアジン系薬剤、モノアミン酸化酵素阻害剤 臨床症状・措置方法...口内乾燥</p>

	<p>その他の副作用：消化器...口内炎 呼吸器...嘔声 泌尿器...尿路感染（腎盂腎炎等） 肝臓...AST(GOT)上昇 その他...口内乾燥</p>
<p>ブ°ル°ベ°リン塩酸塩（過活動膀胱における尿意切迫感、頻尿及び切迫性尿失禁の効能を有する製剤） （バ°ッ°フォー錠）</p>	<p>禁忌：・尿閉を有する患者（抗コリン作用により排尿時の膀胱収縮が抑制） ・閉塞隅角緑内障の患者</p> <p>効能・効果に関連する使用上の注意： ・適用する際、十分な問診により臨床症状を確認、類似の症状を呈する疾患（尿路感染症、尿路結石、膀胱癌や前立腺癌等の下部尿路における新生物等）があることに留意し、尿検査等により除外診断を実施。必要に応じて専門的な検査も考慮。 ・下部尿路閉塞疾患（前立腺肥大症等）を合併している患者では、それに対する治療を優先。</p> <p>用法・用量に関連する使用上の注意： 20mgを1日1回投与で効果不十分であり、かつ安全性に問題がない場合に増量を検討。</p> <p>慎重投与：緑内障の患者（閉塞隅角緑内障の患者は禁忌。それ以外でも抗コリン作用により眼圧が上昇し、症状が悪化するおそれあり）</p> <p>その他の副作用：循環器...血圧上昇 眼...眼球乾燥</p>
<p>ケ°ブ°ロ°エン（モ°ラス°パ°ッ° 30mg・ テ°ブ°・テ°ブ° L）</p>	<p>重大な副作用：ショック...十分観察、異常が認められた場合、適切な処置。</p>
<p>ケ°ブ°ロ°エン（テ°ブ° 剤） （モ°ラス°テ°ブ°・テ°ブ° L）</p>	<p>その他の副作用：皮膚...皮膚剥脱</p>
<p>フル°ビ°ブ°ロ°エン（外用剤） （アド°フィ°ド°パ°ッ°）</p>	<p>重大な副作用：ショック、アナフィラキシー様症状...十分観察、胸内苦悶、悪寒、冷汗、呼吸困難、四肢しびれ感、血圧低下、血管浮腫、蕁麻疹等があらわれた場合には使用中止、適切な処置。</p>
<p>ホ°グ°リ°ホ°ス（ジ°エ°ネ°ック製品） （ホ°グ°リ°ホ°ス OD フィルム「QQ」）</p>	<p>重要な基本的注意： ・糖尿病類似の症状（慢性膵炎等の膵臓疾患、薬剤起因性の耐糖能異常等）を有する疾患があることに留意。 ・適用はあらかじめ糖尿病治療の基本である食事療法、運動療法を十分に行ったうえで効果が不十分な場合に限り考慮する。</p> <p>その他の副作用：消化器...放屁、腹部膨満</p>
<p>シ°カ°レ°ト°塩酸塩（レ°グ°パ°ラ°錠）</p>	<p>重大な副作用：消化管出血、消化管潰瘍...十分観察、異常が認められた場合は投与中止、適切な処置。</p> <p>慎重投与：消化管出血や消化管潰瘍又はその既往歴のある患者（症状を悪化又は再発させるおそれあり）</p> <p>その他の副作用：肝臓...ビリルビン、-GTP 上昇</p>
<p>ハ°ク°リ°タ°キ°ル（タ°キ°ル注射液、 ハ°ク°リ°タ°キ°ル注「NK」）</p>	<p>禁忌、併用禁忌：ジ°ス°ル°フ°イ°ラ°ム、シ°ア°ミ°ド°、加°メ°コ°ル、ブ°ロ°カ°バ°ジ°ン°塩酸塩 臨床症状・措置方法...これら薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、血圧降下、悪心、頻脈、めまい、呼吸困難、視力低下等）、 機序・危険因子...本剤タノールを含有しているため。</p> <p>併用注意： ・ソ°ル°チ°ニ°ト°ル°酸塩水和物 ・N-メ°ル°テ°ラ°ゾ°ル°ル°オ°キ°ル°基°を°有°する°セ°フ°エ°ム°系°抗°生°物°質°（セ°フ°メ°キ°シ°ム°塩酸塩、セ°フ°オ°ラ°ゾ°ン°ナ°トリウム、セ°フ°ブ°ラ°ゾ°ン°ナ°トリウム、セ°フ°ミ°ク°サ°トリウム水和物、セ°フ°メ°タ°ゾ°ル°ナ°トリウム、ラ°タ°キ°セ°フ°ナ°トリウム）、メ°ロ°ニ°ダ°ゾ°ル° 臨床症状・措置方法...これら薬剤とのアルコール反応（顔面潮紅、悪心、頻脈、多汗、頭痛等）、 機序・危険因子...本剤タノールを含有しているため。</p>
<p>レ°ト°ロ°ゾ°ル（フェ°マ°ラ°錠）</p>	<p>重大な副作用： ・心不全、狭心症、中毒性表皮壊死症（Toxic Epidermal Necrolysis: TEN）多形紅斑...十分観察、異常が認められた場合は投与中止など適切な処置。 ・肝機能障害、黄疸...AST(GOT)、ALT(GPT)の著しい上昇等を伴う肝機能障害、黄疸があらわれることあり、十分観察、異常が認められた場合は投与中止など適切な処置。</p>
<p>セ°ル°タ°ミ°ル°リン酸塩 （タ°ミ°ル°カ°ベ°ル°ド°ラ°イ°ソ°ッ°）</p>	<p>妊・産・授乳婦等への投与：ヒト母乳中へ移行することの報告あり。 その他の注意：国外ではド°ラ°イ°ソ°ッ° 剤及びカ°レ°ト°剤による免疫低下者の予防試験において12週間の投与経験がある。</p>
<p>セ°ル°タ°ミ°ル°リン酸塩（ド°ラ°イ°ソ°ッ°）</p>	<p>警告：インフルエンザウイルス感染症の予防の基本はワクチン療法であり、本剤の予防使用はワクチン療法</p>

剤) (タムボド ライソップ)	<p>に置き換わるものではない。</p> <p>効能・効果に関連する使用上の注意： 予防に用いる場合は、原則として、インフルエンザウイルス感染症を発症している患者の同居家族又は共同生活者である下記の者を対象とする。</p> <p>(1)高齢者(65歳以上) (2)慢性呼吸器疾患又は慢性心疾患患者 (3)代謝性疾患患者(糖尿病等) (4)腎機能障害患者</p> <p>用法・用量に関連する使用上の注意： ・予防に用いる場合は次の点に注意して使用。</p> <p>(1)インフルエンザウイルス感染症患者に接触後2日以内に投与開始(接触後48時間経過後に投与を開始した場合における有効性を裏付けるデータは得られていない)。 (2)インフルエンザウイルス感染症に対する予防効果は、本剤を連続して服用している期間のみ持続。</p> <p>・予防に用いる場合は、成人、腎機能の低下に応じて次の投与方法を目安とする。</p> <table border="1" data-bbox="470 593 1308 739"> <thead> <tr> <th>クレアチニンクリアランス (mL/分)</th> <th>投与方法</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>Ccr > 30</td> <td>1回 75mg 1日 1回</td> </tr> <tr> <td>10 < Ccr ≤ 30</td> <td>1回 75mg 隔日 又は 1回 30mg 1日 1回</td> </tr> <tr> <td>Ccr ≤ 10</td> <td>推奨用量は確立していない</td> </tr> </tbody> </table> <p>・<参考> 国外では、幼小児における本剤のクリアランス能を考慮し、以下に示す体重群別固定用量が用いられている。</p> <table border="1" data-bbox="470 840 1005 1019"> <thead> <tr> <th>体重</th> <th>固定用量</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>15kg 以下</td> <td>1回 30mg</td> </tr> <tr> <td>15kg を超え 23kg 以下</td> <td>1回 45mg</td> </tr> <tr> <td>23kg を超え 40kg 以下</td> <td>1回 60mg</td> </tr> <tr> <td>40kg を超える</td> <td>1回 75mg</td> </tr> </tbody> </table> <p>用量(mg)はピロピロとして 治療に用いる場合は1日2回、予防に用いる場合は1日1回</p>	クレアチニンクリアランス (mL/分)	投与方法	Ccr > 30	1回 75mg 1日 1回	10 < Ccr ≤ 30	1回 75mg 隔日 又は 1回 30mg 1日 1回	Ccr ≤ 10	推奨用量は確立していない	体重	固定用量	15kg 以下	1回 30mg	15kg を超え 23kg 以下	1回 45mg	23kg を超え 40kg 以下	1回 60mg	40kg を超える	1回 75mg
クレアチニンクリアランス (mL/分)	投与方法																		
Ccr > 30	1回 75mg 1日 1回																		
10 < Ccr ≤ 30	1回 75mg 隔日 又は 1回 30mg 1日 1回																		
Ccr ≤ 10	推奨用量は確立していない																		
体重	固定用量																		
15kg 以下	1回 30mg																		
15kg を超え 23kg 以下	1回 45mg																		
23kg を超え 40kg 以下	1回 60mg																		
40kg を超える	1回 75mg																		
乾燥 BCG ワクチン	<p>接種不適当者：本剤成分によりアナフィラキシーを呈したことがあることが明らかな者 重大な副反応：ショック、アナフィラキシー様症状...接種後は十分観察、異常が認められた場合、適切な処置。</p> <p>その他の副反応：過敏症...接種直後から数日中に発疹、蕁麻疹、紅斑(多形紅斑を含む)、そう痒等があらわれることあり。</p>																		
リバビリン(コペガス錠、レボトルカプセル) インターフェロアルファ(BALL-1)(オアエイ注射用) インターフェロアルファ(NAMALWA)(スミフェン注DS) ペグインターフェロアルファ-2b(遺伝子組換え)(ペグイントロン皮下注射用) インターフェロアルファ-2b(遺伝子組換え)(イントンA注射用) インターフェロペ-タ(リバビリンとの併用の用法を有する製剤)(フィソ注射用) インターフェロペ-タ-1a(遺伝子組換え)(アホネックス筋注用シリンジ) インターフェロペ-タ-1b(遺伝子組換え)(ペグイントロン皮下注射用) ペグインターフェロアルファ-2a(遺伝子組換え)(ペガシ皮下注射用)	<p>重要な基本的注意：</p> <p>・抑うつ、自殺企図があらわれることがある。また、躁状態、攻撃的行動があらわれ、他害行為に至ることがある。患者の精神状態に十分注意し、不眠、不安、焦燥、興奮、攻撃性、易刺激性等があらわれた場合には投与中止するなど、投与継続の可否について慎重に検討。これら症状が認められた場合には、投与終了後も観察を継続することが望ましい。</p> <p>・抑うつ、自殺企図をはじめ、躁状態、攻撃的行動、不眠、不安、焦燥、興奮、攻撃性、易刺激性等の精神神経症状発現の可能性について患者及びその家族に十分理解させ、これらの症状があらわれた場合には直ちに連絡するように注意を与えること。</p>																		
リバビリン(コペガス錠、レボトルカプセル) インターフェロアルファ(BALL-1)(オアエイ注射用) インターフェロアルファ(NAMALWA)(スミフェン注DS) ペグインターフェロアルファ-2b(遺伝子組換え)(ペグイントロン皮下注射用) インターフェロアルファ-2b(遺伝子	<p><ペグインターフェロアルファ-2a(遺伝子組換え)との併用の場合(コペガス錠)> <インターフェロアルファ-2b(遺伝子組換え)又はペグインターフェロアルファ-2b(遺伝子組換え)との併用の場合(レボトルカプセル)> <本剤単独の場合、リバビリンとの併用の場合(イントンA注射用、ペガシ皮下注射)> <本剤単独の場合(フィソ注射用)></p> <p>重大な副作用：・躁状態、攻撃的行動...十分観察、興奮、攻撃性、易刺激性等があらわれた場合は投与中止、適切な処置。</p>																		

<p>組換え) (イントン A 注射用) イ ンターフェロンベータ (リバビリンとの併 用の用法を有する製剤) (フィ ン注射用) ヘグ インターフェンアルファ -2a (遺伝子組換え) (ヘガシ 皮下注)</p>	<p>・認知症様症状</p>
<p>リバビリン (加 剤) (レトルカ 剤) インターフェンベータ (リバビリンとの併 用の用法を有する製剤) (フィン注射用)</p>	<p><インターフェンベータとの併用の場合 (レトルカ 剤) > <リバビリンとの併用の場合 (フィン注射用) > 重大な副作用： 重篤なうつ状態、自殺企図、躁状態、攻撃的行動 ...十分観察、不眠、不安、焦燥、興奮、攻撃性、易刺激性等があらわれた場合は投与 中止、適切な処置。</p>
<p>インターフェンベータ-1a (遺伝子組換 え) (アネックス筋注用シリンジ)</p>	<p>重大な副作用：躁状態、攻撃的行動...十分観察、焦燥、興奮、攻撃性、易刺激性等があら われた場合は投与中止、適切な処置。</p>
<p>インターフェンベータ-1b (遺伝子組換 え) (ヘガシ皮下注)</p>	<p>重大な副作用： うつ病；躁状態、攻撃的行動...十分観察、不眠、興奮、攻撃性、易刺激性等があらわれ た場合は投与中止、適切な処置。 重大な副作用 (類薬)：認知症様症状</p>
<p>リバビリン (コパガ錠、レトルカ 剤)</p>	<p>併用注意：アザチオプリン 臨床症状・措置方法...骨髄機能抑制が起こるおそれあり。併用する場合には、定期的に 血液検査を行うなど、患者の状態を十分観察。本剤減量、中止に ついては「用法・用量に関連する使用上の注意」の項を参照。 機序・危険因子...アザチオプリンの代謝酵素であるインソール酸脱水素酵素 (IMPDH) を阻害する ことにより、代謝産物のメチルインソール酸 (meTIMP) が蓄積。</p>
<p>インターフェンアルファ (BALL-1) (オーアエフ注射用)</p>	<p>高齢者への投与：認知症様症状等が認められた場合には減量、投与中止等の適切な処置。</p>
<p>フェンタニル (中等度から高度の慢 性疼痛における鎮痛の効能を 有する製剤) (デロテップ MT パッチ)</p>	<p>警告：本剤の温度が上昇するとフェンタニルの吸収量が増加し、過量投与になり、死に至るお それあり。本剤貼付中は、外部熱源への接触、熱い温度での入浴等を避ける。発 熱時には患者の状態を十分観察、副作用発現に注意。 効能・効果に関連する使用上の注意： ・他の北オピオイド鎮痛剤が一定期間投与され、忍容性が確認された患者で、かつ北オピオイド鎮 痛剤の継続的な投与を必要とする癌性疼痛及び慢性疼痛の管理にのみ使用。 ・慢性疼痛の原因となる器質的病変、心理的・社会的要因、依存リスクを含めた包括的な診 断を行い、本剤投与の適否を慎重に判断。 用法・用量に関連する使用上の注意： 初回貼付用量...経口薬 用量 270mg/日以上に対して本剤 4.2mg へ切り替えるものとして 設定。 初回貼付時...鎮痛効果が得られるまで時間を要する。切り替え前に使用していた北オ ピオイド鎮痛剤の投与を行うことが望ましい。 投与の中止...投与を必要としなくなった場合には、退薬症候の発現を防ぐために徐々に 減量。 用量調整と維持 ...投与の継続：慢性疼痛患者において、投与開始後 4 週間を経過してもなお期待する 効果が得られない場合は、他の適切な治療への変更を検討。定期的に 症状及び効果を確認し、投与の継続の必要性について検討。 重要な基本的注意： ・中等度から高度の癌性疼痛又は慢性疼痛以外の管理に使用しない。 ・患者等に十分説明し、理解を得た上で使用開始。 ・乱用や誤用により過量投与や死亡に至る可能性があるため、これらを防止するため十分 観察。 ・本剤貼付中に発熱又は激しい運動により体温が上昇した場合、過量投与になり、死に 至るおそれがあるので、患者の状態に注意。本剤を貼付中に入浴する場合は、熱い温 度での入浴は避けさせる。 ・他の北オピオイド鎮痛剤から切り替え直後に、悪心、嘔吐、傾眠、浮動性めまい等の副作用 が多く認められることあり、切り替え時には十分観察、慎重投与。これら副作用は経 時的に減少する傾向あり。 ・CYP3A4 阻害作用を有する薬剤を併用している患者では、血中濃度が高くなる可能性あ り、十分観察、慎重投与。</p>

・鎮痛剤による治療は原因療法ではなく、対症療法であることに留意。

併用注意：リトバル、イトラコザール、アミタリン、ケリスロマイシン、シムヘム、フルキサミン
臨床症状・措置方法...呼吸抑制等の副作用が発現するおそれあり、十分観察、慎重投与。

重大な副作用：依存性...乱用や誤用により過量投与や死亡に至る可能性あり、これらを防止するため十分観察。
呼吸抑制...無呼吸、呼吸異常、換気低下等があらわれた場合、投与中止など適切な処置。

その他の副作用：

<癌性疼痛患者における副作用>
循環器...高血圧、低血圧、チアノーゼ、動悸
精神神経系...感覚鈍麻、回転性めまい
皮膚...皮膚炎（接触性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎を含む）、湿疹、貼付部位反応（発疹、湿疹、皮膚炎）
消化器...吐気、腹痛
その他...勃起不全、筋痙縮、疲労、末梢性浮腫、インフルエンザ様疾患、冷感、体温変動感
眼障害...縮瞳

<慢性疼痛患者における副作用>
循環器...動悸、低血圧、頻脈、徐脈、高血圧、チアノーゼ
精神神経系...傾眠、めまい、頭痛、不眠、無感情、注意力障害、味覚異常、記憶障害、振戦、錐体外路障害、感覚鈍麻、回転性めまい、幻覚、うつ病、錯乱、不安、多幸症、激越、健忘、錯感覚
皮膚...貼付部位のそう痒感・紅斑・皮膚炎・発疹、そう痒、湿疹、発疹、紅斑、皮膚炎（接触性皮膚炎、アレルギー性皮膚炎を含む）、貼付部位反応（小水疱、湿疹）
消化器...嘔気、嘔吐、便秘、下痢、口渇、腹痛、痔核、胃部不快感、口内炎、消化不良、吐気
肝臓...肝機能異常
泌尿器...排尿困難、尿閉
眼障害...結膜炎、複視、霧視、縮瞳
感染症...鼻咽頭炎、膀胱炎、带状疱疹
臨床検査...蛋白尿、ALT(GPT)増加、AST(GOT)増加、血中ビリルビン増加、尿糖陽性、総蛋白減少、体重減少、白血球数減少、白血球数増加、血中AI-P増加、血中尿素窒素上昇

その他...食欲不振、倦怠感、発汗、薬剤離脱症候群、発熱、貧血、白血球増加症、食欲減退、耳鳴、背部痛、筋骨格痛、四肢痛、不正子宮出血、胸部不快感、胸痛、悪寒、異常感、末梢性浮腫、性機能不全、勃起不全、無力症、筋痙縮、疲労、インフルエンザ様疾患、冷感、体温変動感

妊・産・授乳婦等への投与：妊娠中の本剤投与により、新生児に退薬症候がみられることあり。

適用上の注意：
交付時...本剤を指示された目的以外に使用してはならないことを指導。
・他人へ譲渡してはならないことを指導。
貼付時...傷ついたパッチは使用しないこと。

1. 新規常備医薬品 (合計 21 品目)

平成 22 年 2 月 16 日 (火) よりオーダ開始

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アートセラフ [®] 脳脊髄手術用洗淨灌流液	注	500mL	2,203	大塚製薬工場	脳脊髄手術用洗淨灌流液 脳脊髄手術用洗淨灌流液として効能・効果を有した本邦初の医療用医薬品 ヒトの正常脳脊髄液の組成・性状に近似させた製剤 【発売：2008.5.12】
アベ [®] タックス	注	100mg	35,894	ブリストルマイヤーズ・セルノー	Cetuximab (genetical recombination) 抗悪性腫瘍剤 (結腸・直腸癌) 抗ヒト EGFR モノクローナル抗体製剤 EGFR 陽性癌細胞株に対して増殖阻害作用 切除不能大腸癌の切除率の向上 TTP(無増悪期間)の延長、全生存率の向上 【発売：2008.9.19】
アイセントス	錠	400mg	1,510.4	万有	Raltegravir potassium HIV 感染症用薬 HIV インテグラーゼ [®] 阻害剤 (新規作用機序) HIV ウイルス複製に必要な酵素である HIV インテグラーゼ [®] の触媒活性阻害 ウイルス産生抑制 既存の抗 HIV 薬に耐性を示す HIV-1 変異株を含む、種々の HIV 変異株に対し広い活性 UDP-グルコシルトランスフェラーゼ [®] (UGT)1A1 で代謝 CYP により代謝を受ける可能性低い 1日2回 オーファンドラック [®] 【発売：2008.7.7】
アクトビ [®]	注	-	-	第一三共	インフルエンザ [®] b 型菌ワクチン インフルエンザ [®] b 型菌による髄膜炎を予防可能 本ワクチンは自費で 8000 円/日で請求可能 【発売：2008.12.19】
アボ [®] ネックス 筋注用	注	30 µg /0.5mL /シリンジ	39,096	バイオジェン・アイテック・ジャパン	IFN- 1a(genetical recombination) 多発性硬化症の再発予防剤 プレフィルド [®] シリンジ 製剤 高い利便性 週 1 回、筋注(既存品:ア [®] タエ [®] は 2 日に 1 度の皮下注射)のため、コンプライアンス向上 【発売：2006.11.8】
アム [®] ビゾ [®] ム	注	50mg/V	9,640	大日本住友	AmphotericinB ポリエン [®] 系抗真菌剤 脂質 2 重層のポリゾ [®] ムでアムホテリソン B を封入した製剤 アムホテリソン B と比較して腎障害等の副作用が少ない シクロスポリン、タコリムスに対する血中濃度の影響がポリコザ [®] ール、イトリゾ [®] ールと比較してない 【発売：2006.6.20】
イリ [®] ノテカン塩酸塩点滴静注液「タイナ」	注	40mg /100mg	5,717 /12,864	大鵬	Irinotecan 抗悪性腫瘍剤 (結・直腸・肺・胃・乳癌) ト [®] テ [®] シ [®] の後発品 従来品と生物学的に同等 従来品より安価、経済的 < 1V の薬価 > ト [®] テ [®] シ [®] 40mg : 8,168 円 100mg :18,477 円 【発売：2008.5.20】

インテンス	錠	100mg	619.8	ヤンセン ファーマ	Etravirine HIV 感染症用薬 非ヌクレオチド系逆転写酵素阻害剤 (NNRTI) 既存の NNRTI (スツックリン) に耐性を示す HIV-1 変異株 に対し広い活性 中枢神経系副作用出現率が低い オーファンドラッグ 【発売：2009.1.19】								
オパ® 小児 用細粒 10%	細粒	100mg/g	580.9/g	明治 製菓	Tebipenem piboxil 加バ® 小児系抗生剤 世界初の経口加バ® 小児系抗生剤 小児の中耳・副鼻腔・肺炎の注射適応例に使用可能 QOL 向上、入院患者数の減少 体重 10kg の患者に 30mg/kg 使用 した場合、 <table border="1"> <tr> <td>薬剤名</td> <td>オパ® 小</td> <td>メロペ®</td> <td>加バ® 小</td> </tr> <tr> <td>薬価</td> <td>464.72</td> <td>4,950</td> <td>3,483</td> </tr> </table> 上表のように経済的である 【発売：2009.8.26】	薬剤名	オパ® 小	メロペ®	加バ® 小	薬価	464.72	4,950	3,483
薬剤名	オパ® 小	メロペ®	加バ® 小										
薬価	464.72	4,950	3,483										
カバ® スコ 200 µg インヘー-56 吸入用	吸入	11.2mg/ 1キット	2,294.8/ 1キット	帝人	Ciclesonide 吸入ステロイド 喘息治療剤 定量噴霧式吸入剤 プロドラッグ 肺でエステルゼにより分解され活性代謝物へ変換 口腔内で活性代謝物に変換され難いため局所性副 作用 用 (口腔・咽頭部カンジダ症) のリスク軽減 脂肪酸抱合体形成により肺組織に滞留 1日1回で 有効 【発売：2007.6.8】								
カーボスター	透析剤	L (A 剤: 9L, B 剤: 11.5L) P (A 剤: 2,883g, B 剤: 1,030g)	2,593 1,092	味の素 ファルマ	人工腎臓用透析液 (L)・粉末製剤 (P) 重炭酸系透析剤 アルカリ化剤として酢酸を含まず、炭酸水素ナトリウムを使用 より生理的で酢酸由来の心機能抑制、末梢血管 拡張作用による透析中血圧低下の防止 優れた代謝性アシドーシス是正効果 【発売：L；2007.6.27,P;2007.7.19】								
コンサータ	錠	18mg 27mg	328.4 363.9	ヤンセン ファーマ	Methylphenidate hydrochloride 注意欠陥/多動性障害 (AD/HD) 治療剤 国内初の AD/HD への適応有する薬剤 徐放錠 1日1回で 12hr 作用持続 AD/HD の中核症状 (不注意, 多動性・衝動性) のいず れも改善 登録医以外処方不可 【発売：2007.12.19】								
テクネチンチ	注	10M : 370MBq 20M : 740MBq	10,508 21,016	日本 メジファジック ス	Sodium Pertechnetate (^{99m} Tc) 放射性医薬品 甲状腺、唾液腺シンチグラフィによる診断可能 各種標識キットと組み合わせることで脳血流量、出血 評価、腎機能などの診断も可能 【発売：1990.9.3】								
プリジスタ	錠	300mg	430.2	ヤンセン ファーマ	Darunavir ethanolate HIV 感染症治療薬 HIV プロテアーゼ阻害剤								

					<p>プロテアーゼの2量体化阻止作用（新規作用） 主要活性部位（主鎖）に作用（従来薬は側鎖に作用） 高い抗ウイルス活性、耐性が生じにくい 多剤耐性ウイルスに対しても有効 オファンドラッグ 【発売：2007.12.10】</p>
ラジレス	錠	150mg	168	ハルティス	<p>Aliskiren fumarate 高血圧症治療剤（直接的レン阻害剤） レン系サイクルの起点のレン直接的阻害薬（新規作用機序） 1日1回で24時間安定した降圧効果 アンジオテンシン受容体拮抗薬ニューロタン錠 50mg（ロムタン）と同薬価 【発売：2009.10.1】</p>
リカルボン	錠	1mg	135.5	小野	<p>Minodronic acid hydrate 骨粗鬆症治療剤（ビスホスホネート製剤） 1日1回製剤 非臨床試験において既存のビスホスホネート製剤より低用量で骨吸収抑制、骨密度・骨強度の低下抑制 臨床試験において日本人におけるプラセボに対する骨折防止効果を検証できた初めての製剤 【発売：2009.4.7】</p>
リンザ	吸入	5mg/1プ リスター	168.7/1プ リスター	グラクソ・スミ スクライン	<p>Zanamivir hydrate 抗インフルエンザウイルス剤 ノイロミニダゼー阻害剤 インフルエンザウイルスの感染・増殖部位である気道に直接到達 全身への影響の少ない吸入剤 耐性が生じにくい 【発売：2000.12.8】</p>

2. 剤形・規格追加医薬品 (合計 6 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アバスタ点滴 静注用	注	400mg/ 16mL/V	190,253	中外	Bevacizumab 抗悪性腫瘍剤（結腸・直腸・肺癌） 非小細胞肺癌に対する上乗せ効果の報告あり 肺癌の場合、投与量が15mg/kgと他の癌種より多い ため、400mg製剤が経済的である 400mg製剤 1V 190,253 100mg製剤 4V 199,836 【発売：2007.6.11】
アムカロン	注	150mg /3mL	3,066	サノフィ・アベン ティス	Amiodarone hydrochloride 不整脈用剤 心室頻拍及び心室細動の治療剤として最も比喹ーソ のある薬剤 ベンゾフラン誘導体 心筋Kチャネル遮断作用 Naチャネル、Caチャネル遮断作用、抗アドレナリン作用を併せ持 つ オーファンドラック 【発売：2007.6.22】
イミグラン キット 皮下注	注	3mg/0.5 mL	3,427	グラク スミ クライン	Sumatriptan succinate 片頭痛治療剤 選択的5HT _{1B/1D} 受容体作動型片頭痛治療剤 頭蓋内 外の血管に対して選択的収縮作用 群発頭痛に対して初めて有効性が示された薬剤 唯一の自己注射製剤 【発売：2008.2.25】
クレビット	錠	500mg	547.2	第一 三共	Levofloxacin ニューキノロン系抗菌剤 PK-PD理論に基づく高用量製剤 本剤1日1回投与は従来品クレビット錠100mg1日3回 投与よりも優れたC _{max} ,AUC 高い有用性、耐性菌 発現抑制に有効 【発売：2009.7.7】

3. 切り替え医薬品 (合計 14 品目)

商品名	剤形	規格	薬価	会社名	成分・薬効
アミカイン	注	100mg/ mL	295	明治 製菓	Amikacin sulfate アミノグリコシド系抗生剤 従来品と生物学的に同等 アミカイン注の後発品 【発売：1981.9.1】
スルバクタム	注	1.5g/V	635	明治 製菓	Sulbactam sodium/Ampicillin sodium ラクタマゼン阻害剤配合抗生剤 従来品と生物学的に同等 スルバクタム注の後発品 【発売：2006.9.15】
ダイアニールN PD-2 1.5	透析液	1500mL 2000mL 5000mL	785 1,103 2,606	ハクスター	腹膜透析液 2室構造になり、中性化及びブドウ糖分解物（GDPs）が低減され、生体適合性が向上 切り替え薬と比較し薬価は安価あるいは同価 低Ca透析液PD-4（Ca:2.5mEq/L）から高Ca透析液PD-2（Ca:3.5mEq/L）への変更 低Ca血症の是正、副甲状腺機能亢進症の抑制 【発売：2004.7.15】
ダイアニールN PD-2 2.5	透析液	2000mL 5000mL	1,149 2,665		
ダイアニールN PD-2 1.5 UV フラッシュインパック	透析液	1000mL 1500mL 2000mL	1,525 1,732 2,019		
ダイアニールN PD-2 2.5 UV フラッシュインパック	透析液	1000mL 1500mL 2000mL	1,596 1,718 2,049		
生理食塩	注	500mL	106		

切り替え医薬品は全て事後報告のため既にオーダ可能

4. 削除医薬品 (合計 50 品目 < 本表 : 30 品目 > + < 別紙 1 : 20 品目 >)

商品名	剤形	規格	削除理由
硫酸アロピオン	散	1mg/g	販売中止のため、削除
アミカシ	注	100mg/2mL	アミカシ注の採用のため、削除
IFN モチダ	注	300 万単位/V	販売中止のため、削除
カマイシンシロップ	内用液	50mg/mL	カマイシンシロップ 200 μg インハレ- 56 吸入用採用のため、削除
キダリ-透析剤	透析剤	-	カホスター P・L 採用のため、削除
クビット	錠	100mg	クビット錠 500mg 採用のため、削除
スタール	注	1mg/1mL	販売中止のため、削除
生理食塩液 PL「フー」	注	500mL	生理食塩液採用のため、削除
ジビテルゴット	錠	1mg	ジビテルゴット皮下注 3mg 採用のため、削除
ダアイニル PD-2 1.5	透析液	2000mL	ダアイニル N PD-2 1.5 2000mL 採用のため、削除
ダアイニル PD-2 2.5	透析液	2000mL	ダアイニル N PD-2 2.5 2000mL 採用のため、削除
ダアイニル PD-4 1.5	透析液	5000mL	ダアイニル N PD-2 1.5 5000mL 採用のため、削除
ダアイニル PD-4 2.5	透析液	5000mL	ダアイニル N PD-2 2.5 5000mL 採用のため、削除
ダアイニル PD-4 UV フラッシュツインパック 1.5	透析液	1000mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 1.5 1000mL 採用のため、削除
		1500mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 1.5 1500mL 採用のため、削除
		2000mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 1.5 2000mL 採用のため、削除
ダアイニル PD-4 UV フラッシュツインパック 2.5	透析液	1000mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 2.5 1000mL 採用のため、削除
		1500mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 2.5 1500mL 採用のため、削除
		2000mL	ダアイニル N PD-2 UV フラッシュツインパック 2.5 2000mL 採用のため、削除
ダアイモックス	末	-	ダアイモックス細粒 4mg 採用のため、削除
ビースフォー	注	100mg/V	販売中止のため、削除
ビラセプト	錠	250mg	ビラセプト錠 300mg 採用のため、削除
ペンフィル R	注	300U/V	販売中止のため、削除
ペンフィル 30R	注	300U/V	販売中止のため、削除
ペンフィル N	注	300U/V	販売中止のため、削除
ボナロン	錠	5mg	ボナロン錠 1mg 採用のため、削除
マイリス静注用	注	200mg	販売中止のため、削除
ユサシス	注	1.5g/V	ユサシス 1.5g/V 採用のため、削除
ユリーファセル	Cap	2mg	販売中止のため削除
リカマイシンドライシロップ	散	200mg/g	リカマイシン錠 18・27mg 採用のため、削除

常備薬削除予定一覧表

HF頁	コード	薬品名	剤形	規格	薬効	代替薬 [同成分, 投与経路の違う同成分]
416	アハ61	アドバフェロン	注	1800万IU/V	インターフェロン類	ヘガシス注90・120μg、ヘグイントロン注50・100μg
235	イン702	インプロメン	錠	6mg	抗精神病薬(ブチロフェノン系)	インプロメン錠3mg
303	カタ701	カタプレス	錠	0.075mg	その他の降圧薬	アルドメット錠250mg
195	クリ701	クリノリル	錠	100mg	非ステロイド性抗炎症剤	ハイエン錠200mg、モービック錠10mg、セロコックス錠100mg
350	サル01	サルレックス	錠	0.5mg	その他の消化管作用薬	直近1年処方患者数 0人(院外含む)
348	サラ701	サラゾピリン	坐剤	500mg	その他の消化管作用薬	サラゾピリン錠500mg、ヘンタサ錠500mg、ヘンタサ注腸
290	セロ702	セロケン	錠	40mg	遮断薬	セロケン錠20mg・セロケンL錠120mg
187	ノイ762	ノイアップ	注	250μg	血球減少予防・治療剤	ノイアップ50μg
181	ハナル02	パナルジン	細粒	100mg/g	血小板凝集抑制剤	パナルジン錠、フラビックス錠、フレタル錠、アンブラーグ錠
383	フレ01	プレオS	軟膏	5g/本	皮膚悪性腫瘍治療剤	直近1年処方患者数1人(院外含む)
30	ハスタ01	ベスタチン	Cap	30mg	その他の抗腫瘍剤	直近1年処方患者数1人(院外含む)
286	ヘル702	ベルジピン10%	散	100mg/g	カルシウム拮抗剤	ヘルジピンLACap、直近1年処方患者数1人(院外含む)
106	リン757	リンデロン	坐剤	0.5mg	副腎皮質ホルモン剤	ステロネマ注腸、ヘンタサ注腸
37	レトロ01	レトロビル	Cap	100mg	抗HIV薬	エフゾコム錠、コンビビル錠、ツルバタ錠、ピリアード錠、エビビル錠150・300mg、直近1年処方患者数 0人(院外含む)
186	ネス761	ネスプシリンジ	注	15μg/本	血球減少予防・治療剤	ネスプシリンジ30μg・60μg
301	プロ702	プロプレス	錠	12mg	アンジオテンシン 受容体拮抗薬	プロプレス錠8mg
393	マイ702	マイコスポール	液		抗真菌剤	ルリコン液
265	マス761	マスキュラックス	注	4mg/A	末梢性骨格筋弛緩剤	エストラックス注25mg/2.5mL/V
265	マス762	マスキュラックス	注	10mg/V	末梢性骨格筋弛緩剤	エストラックス注50mg/5mL/V
15	ミノ701	ミノマイシン	錠	100mg	テトラサイクリン系抗微生物剤	ミノマイシン錠50mg

ペニシリン系

スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム

sulbactam・ampicillin (ABPC/SBT)

スルバシリン静注用 Sulbacillin 明治製菓

コード 薬価

注: 1.5g/V [スルハ61] 635

【用】肺炎、肺膿瘍、腹膜炎: 1日6gを2回に分けて
 静注又は点滴静注 膀胱炎: 1日3gを2回に分けて
 静注又は点滴静注 [小児]1日60~150mg/kgを
 3~4回に分けて静注又は点滴静注

【禁】本剤成分ショック既往 伝染性単核症**【原禁】本剤成分又はペニシリン系抗生物質過敏症**

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 皮
 膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 中毒性
 表皮壊死症(Lyell症候群) 血液障害 急性腎不全
 偽膜性大腸炎 間質性腎炎 肝機能障害 間質性
 肺炎 好酸球性肺炎

【備考】アンピシリン Na 1g + スルバクタム Na 0.5g

カルバペネム系

テビペネム ピボキシル tebipenem pivoxil

オラペネム小児用細粒 Orapenem 明治製菓

コード 薬価

細粒 10%: 100mg/g [オラハ01] 580.9

【用】小児に1回4mg/kgを1日2回食後 1回6mg/kg
 まで増量可

【禁】本剤成分ショック バルプロ酸ナトリウム**【原禁】本剤成分過敏症**

アミノグリコシド系

アミカシン硫酸塩 amikacin sulfate

アミカマイシン注射液 Amikamycin 明治製菓
コード 薬価
 注: 100mg/1mL/A [アミカ 64] 295

【用】[筋注]1 回 100～200mg 小児:1 日 4～8mg/kg
 を1～2回 [点滴静注]1 回 100～200mg 小児:1 日
 4～8mg/kg 新生児(未熟児を含む):1 回 6mg/kg
 を1日2回30分～1時間かけて投与 (いずれも適
 宜増減)

【禁】本剤成分並びにアミノグリコシド系抗生物質又は
 バシトラシン過敏症

【原禁】本人又はその血族がアミノグリコシド系抗生物
 質による難聴又はその他の難聴

【重大な副作用】ショック 第8脳神経障害 急性腎不
 全

ニューキノロン系

レボフロキサシン水和物 levofloxacin hydrate(LVFX)

クラビット Cravit 第一三共
コード 薬価
 錠:500mg [クビ 02] 547.2

【用】1 日 1 回 500mg(適宜減量) 腸チフス、パラチフ
 ス:1 回 500mg を1日1回14日間

【禁】本剤成分又はオフロキサシン過敏症 [炭疽など
 重篤な疾患に限り有益性投与]妊娠又はその可能
 性のある婦人 小児等

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状
 中毒性表皮壊死症 皮膚粘膜眼症候群 痙攣
 QT 延長 急性腎不全 間質性腎炎 劇症肝炎 肝
 機能障害 黄疸 汎血球減少症 無顆粒球症 溶
 血性貧血 血小板減少 間質性肺炎 好酸球性肺
 炎 偽膜性大腸炎等の血便を伴う重篤な大腸炎
 横紋筋融解症 低血糖 精神症状 腱障害 過敏
 性血管炎

抗真菌剤

アムホテリシン B amphotericin B

アムビゾーム点滴静注用 AmBisome

大日本住友

コード 薬価

注(毒):50mg/V [アムビ61] 9,640

【効】(1)真菌感染症(アスペルギルス属、カンジダ属、クリプトコッカス属、ムーコル属、アブシジア属、リゾプス属、リゾムーコル属、クラドスポリウム属、クラドヒアロホーラ属、ホンセカエア属、ヒアロホーラ属、エクソフィアラ属、コクシジオイデス属、ヒストプラズマ属、ブラストミセス属による次の感染症:真菌血症、呼吸器真菌症、真菌髄膜炎、播種性真菌症) (2)真菌感染が疑われる発熱性好中球減少症 (3)リーシュマニア症

【用】1～2時間以上かけて点滴静注 (1)2.5mg/kgを1日1回(適宜増減)1日最大総投与量5mg/kg クリプトコッカス髄膜炎では1日6mg/kgまで投与可 (2)2.5mg/kgを1日1回 (3)免疫能の正常な患者:投与1～5日目の連日、14日目及び21日目にそれぞれ2.5mg/kgを1日1回 免疫不全状態の患者:投与1～5日目の連日、10日目、17日目、24日目、

31日目及び38日目にそれぞれ4.0mg/kgを1日1回

【禁】本剤成分過敏症 白血球輸注中

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 投与時間関連反応 腎不全 中毒性ネフロパシー 重篤な腎障害 肝不全 黄疸 高ビリルビン血症 重篤な肝機能障害 横紋筋融解症 血小板減少 心停止 心不全 不整脈 敗血症 肺炎 重篤な感染症 痙攣 意識障害 中枢神経症状

【備考】リポソーム製剤

抗ウイルス剤

ザナミビル水和物 zanamivir hydrate

リレンザ Relenza

GSK
薬価

コード

外:5mg/1 ブリスター

[リレンザ 41] 168.7/ブリスター

【効】A型又はB型インフルエンザウイルス感染症の治療及びその予防

【用】治療:1回10mg(5mgブリスターを2ブリスター)を1日2回5日間吸入 予防:1回10mgを1日1回10日間吸入

【警】必要性を慎重に検討 予防の基本はワクチン療法であり、本剤の予防使用はワクチン療法に置き換わるものではない

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 気管支攣縮 呼吸困難 皮膚粘膜眼症候群(Stevens-Johnson症候群) 中毒性表皮壊死症(Lyell症候群 TEN) 多形紅斑

【備考】ノイラミニダーゼ阻害作用

抗 HIV 剤

エトラビルン etravirine

インテレンス Intelence

ヤンセン
薬価

コード

錠(劇):100mg

[インテ 04]

619.8

【効】HIV-1 感染症

【用】1回200mgを1日2回食後 必ず他の抗 HIV 薬と併用

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】重篤な皮膚障害 肝炎 腎不全 急性腎不全

【備考】非ヌクレオシド系逆転写酵素阻害剤

抗HIV剤

ダルナビルエタノール付加物 darunavir ethanolate

プリジスタ Prezista	ヤンセン
	コード 薬価
錠(劇):300mg	[フリシ 01] 430.2

【効】HIV 感染症 (抗 HIV 薬治療経験のある患者)

【用】1 回 600mg とリトナビル 1 回 100mg をそれぞれ 1 日 2 回 食事中又は食直後に併用 必ず他の抗 HIV 薬と併用

【禁】本剤成分過敏症 トリアソラム ミダソラム ピモジド エルゴタミン ジヒドロエルゴタミン エルゴメトリン メチルエルゴメトリン バルデナフィル プロナンセリン シルデナフィル(レバチオ) 低出生体重児 新生児 乳児 3歳未満の幼児

【重大な副作用】皮膚粘膜眼症候群 (Stevens-Johnson 症候群) 多形紅斑 肝機能障害 黄疸 急性膵炎

【備考】HIV-1 プロテアーゼ阻害剤

抗HIV剤

ラルテグラビルカリウム raltegravir potassium

アイセントレス Isentress	萬有
	コード 薬価
錠(劇):400mg	[アイセ 01] 1,510.4

【効】HIV 感染症

【用】1 回 400mg 1 日 2 回 必ず他の抗 HIV 薬と併用

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】スティーブンス・ジョンソン症候群 過敏症 腎不全 肝炎 胃炎 陰部ヘルペス

【備考】HIV インテグラーゼ阻害剤

その他の抗腫瘍剤

イリノテカン塩酸塩水和物

irinotecan hydrochloride hydrate

イリノテカン塩酸塩点滴静注液「タイホウ」

Irinotecan

大鵬

コード

薬価

注〔劇〕:40mg/2mL/V

[イリノ 61]

5,717

注〔劇〕:100mg/5mL/V

[イリノ 62]

12,864

【効】[A 法]小細胞肺癌,非小細胞肺癌,乳癌(手術不能又は再発),有棘細胞癌 [A 又は B 法]子宮頸癌,卵巣癌,胃癌(手術不能又は再発),結腸・直腸癌(手術不能又は再発) [C 法]悪性リンパ腫(非ホジキンリンパ腫)

【用】1クール内容 A 法:1日1回100mg/m²を1週間間隔で3~4回点滴静注 少なくとも2週間休薬 B 法:1日1回150mg/m²を2週間間隔で2~3回点滴静注 少なくとも3週間休薬 C 法:1日1回40mg/m²を3日間連日点滴静注 1週毎2~3回繰り返し少なくとも2週間休薬 (適宜増減) A 法・B 法では500mL以上の輸液混和で90分以上かける C 法では250mL以上の輸液混和で60分以上かける

【警】有効性・危険性を十分説明し、同意を得てから

投与 骨髄機能抑制あるいは下痢に起因したと考えられる死亡例あり 適応患者の選択を慎重に行う 頻回に臨床検査を行うなど患者の状態を十分観察 投与予定日の白血球数 3000/mm³ 未満、血小板数 10 万/mm³ 未満の場合、それ以上でも骨髄機能抑制が疑われる場合は投与中止又は延期

【禁】骨髄機能抑制 感染症の合併 下痢(水様便) 腸管麻痺 腸閉塞 間質性肺炎 肺線維症 多量の腹水・胸水 黄疸 本剤成分過敏症 アタザナビル硫酸塩

【重大な副作用】骨髄機能抑制 高度な下痢 腸炎 腸管穿孔 消化管出血 腸閉塞 間質性肺炎 肝機能障害 黄疸 急性腎不全 ショック アナフィラキシー様症状 肺塞栓症 静脈血栓症 心筋梗塞 狭心症発作 心室性期外収縮

【備考】 型 DNA トポイソメラーゼ阻害薬 プロドラッグ

その他の腫瘍用薬

セツキシマブ (遺伝子組換え)

cetuximab (genetical recombination)

アービタックス注射液 Erbitux ブリストルマイヤース
コード 薬価

注(劇): 100mg/20mL/V [アヒタ 61] 35,894

【効】EGFR 陽性の治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌

【用】週 1 回、初回 400mg/m² を 2 時間かけて、2 回目以降 250mg/m² を 1 時間かけて点滴静注 (適宜減量)

【警】緊急時に十分対応できる医療施設で、十分知識・経験を持つ医師のもと、適切症例にのみ投与有効性・危険性を十分説明し、同意を得てから投与重度の infusion reaction が発現し、死亡に至る報告例あり 症状としては、気管支痙攣、蕁麻疹、低血圧、意識消失、ショックがあらわれ、心筋梗塞、心停止の報告あり これら症状は初回投与中又は投与終了後 1 時間以内に観察されているが、投与数時間後又は 2 回目以降投与でも発現することあるので慎重に投与 発現した場合、本剤投与を直ちに中止、再投与しない 添付文書熟読

【禁】本剤成分重篤過敏症

【重大な副作用】重度の infusion reaction 重度の皮膚症状 間質性肺疾患

【備考】抗ヒト EGFR モノクローナル抗体 EGFR: 上皮細胞増殖因子受容体

その他の抗腫瘍剤

ベバシズマブ(遺伝子組換え)

bevacizumab (genetical recombination)

アバスチン点滴静注用	Avastin	中外
	コード	薬価

注(劇): 400mg/16mL/V	[アバス62]	190,253
--------------------	---------	---------

【効】(1)治癒切除不能な進行・再発の結腸・直腸癌
 (2)扁平上皮癌を除く切除不能な進行・再発の非小細胞肺癌

【用】他の抗悪性腫瘍剤との併用において、(1)(a)1回 5 mg/kg 又は 10 mg/kg を点滴静注 投与間隔は2週間以上 (b)1回 7.5mg/kg を点滴静注 投与間隔は3週間以上 (2)1回 15mg/kg を点滴静注 投与間隔は3週間以上

【警】緊急時に十分対応できる医療施設において、がん化学療法に十分な知識・経験を持つ医師のもとで実施 有効性・危険性を十分説明、同意を得てから投与 投与中、消化管穿孔と診断された場合は、投与中止、適切な処置、以降、再投与しない 手術後、投与する場合は、術創の状態を確認、投与の可否を検討 大きな手術の術創が治癒していない場合は、有益性投与 創傷が治癒するまで投与中

止、適切な処置 投与終了後に手術を行う場合は、投与終了からその後の手術まで十分な期間をおくこと 投与により腫瘍関連出血のリスクが高まる 脳転移を有する患者に投与した場合、重度の出血があらわれた場合は、投与中止、適切な処置、以降、再投与しない 脳血管発作、一過性脳虚血発作、心筋梗塞、狭心症、脳虚血、脳梗塞等の動脈血栓塞栓症があらわれ、死亡に至る報告例あり 十分観察、異常が認められた場合には、投与中止、適切な処置 動脈血栓塞栓症があらわれた患者には、再投与しない 高血圧性脳症又は高血圧性クリーゼがあらわれ、死亡に至る報告例あり 投与中止、適切な処置 再投与しない 投与期間中は血圧を定期的に測定すること 可逆性後白質脳症症候群が疑われた場合、投与中止、適切な処置 肺出血(喀血)があらわれ死亡に至る報告例あり 十分観察、肺出血が現れた場合、投与中止、適切な処置、再投与しない

【禁】本剤成分過敏症 喀血(2.5 mL 以上の鮮血の喀血)

【原禁】脳転移

【重大な副作用】ショック アナフィラキシー様症状 消化管穿孔 創傷治癒遅延 出血 血栓塞栓症

高血圧性脳症 高血圧性クレーゼ 可逆性後白質
脳症症候群 ネフローゼ症候群 好中球減少症 う
っ血性心不全 間質性肺炎 瘻孔

【備考】抗 VEGF ヒト化モノクローナル抗体

VEGF: Vascular Endothelial Growth Factor(血管内
皮増殖因子) 血管新生抑制

p122

抗アレルギー剤

モンテルカストナトリウム montelukast sodium

シングレア Singulair

萬有
薬価

細粒: 4mg/包

コード
[シク 04]

262.2

【効】気管支喘息

【用】[細粒]1歳以上6歳未満の小児に4mg(1包)を
1日1回就寝前

【禁】本剤成分過敏症

【重大な副作用】アナフィラキシー様症状 血管浮腫
肝機能障害 黄疸

【備考】システインロイコトリエンタイプ1受容体拮抗作用

その他の代謝性医薬品

ミノドロン酸水和物 minodronic acid hydrate

リカルボン Recalbon

小野
薬価

コード

錠(劇):1mg

[リカル 01]

135.5

【効】骨粗鬆症

【用】1回1mg 1日1回、起床時に十分量(約180mL)の水とともに経口投与 服用後少なくとも30分は横にならず、飲食(水を除く)並びに他の薬剤の経口摂取も避けること

【禁】食道狭窄又はアカラシア(食道弛緩不能症)等の食道通過を遅延させる障害 服用時に上体を30分以上起こしていることのできない患者 本剤成分あるいは他のビスホスホネート系薬剤過敏症 低カルシウム血症 妊娠又はその可能性のある婦人

【重大な副作用】上部消化管障害

【備考】ビスホスホネート製剤

片頭痛治療剤

スマトリプタン sumatriptan

イミグラン Imigran

GSK
薬価

コード

キット皮下注(劇):3mg/0.5mL/シリンジ [イミク 62]

3,427

【効】片頭痛 [注のみ]群発頭痛

【用】[注]頭痛発現時に1回3mg皮下注(適宜増減) 1回3mg、1日6mgを超えないこと 追加投与時は少なくとも1時間の間隔をおく

【禁】本剤成分過敏症 心筋梗塞の既往歴 虚血性心疾患又はその症状・兆候 異型狭心症(冠動脈攣縮) 脳血管障害や一過性脳虚血性発作の既往末梢血管障害 コントロールされていない高血圧症 重篤な肝機能障害 エルゴタミン エルゴタミン誘導体含有製剤、他の5-HT_{1B/1D}受容体作動薬投与中 MAO阻害剤(投与中及び投与中止2週間以内)

【重大な副作用】アナフィラキシーショック アナフィラキシー様症状 虚血性心疾患様症状 不整脈 狭心症 心筋梗塞 てんかん様発作

【備考】5-HT_{1B/1D}受容体選択的作用薬 水溶性(点鼻)速効性 (錠・注)コハク酸塩

精神刺激剤

塩酸メチルフェニデート methylphenidate hydrochloride

コンサータ	Concerta		ヤンセン
--------------	----------	--	------

		コード	薬価
--	--	-----	----

錠(劇)(向):18mg	[コンサ 01]		328.4
--------------	----------	--	-------

錠(劇)(向):27mg	[コンサ 02]		363.9
--------------	----------	--	-------

【効】小児期における注意欠陥/多動性障害(AD/HD)

【用】18mg を初回用量、18～45mg を維持用量とし、1日1回朝投与 増量時は、1週間以上の間隔をあげ1日用量として9mg 又は18mg 増量 (適宜増減) 最大1日用量54mg

【警】AD/HD の診断、治療に精通し、薬物依存を含む本剤のリスク等についても十分管理できる医師・医療機関・管理薬剤師のいる薬局のもとでのみ行うとともに、それら薬局においては、調剤前に当該医師・医療機関を確認した上で調剤

【禁】過度の不安、緊張、興奮性 緑内障 甲状腺機能亢進 不整頻拍 狭心症 本剤成分過敏症 運動性チック、Tourette 症候群又はその既往歴・家族歴 重症うつ病 褐色細胞腫 MAO 阻害剤投与中 又は投与中止後14日以内

【重大な副作用】剥脱性皮膚炎 狭心症 悪性症候群 (Syndrome malin) 脳血管障害

不整脈治療剤 III群

アミオダロン塩酸塩 amiodarone HCl

アンカロン Ancaron	サノフィ・アベンティス
	コード 薬価

注〔毒〕:150mg/3mL/A	[アンカ61]	3,066
------------------	---------	-------

【効】生命に危険のある次の不整脈で難治性かつ緊急を要する場合:心室細動 血行動態不安定な心室頻拍

【用】<48時間まで>初期急速投与:125mgを100mLに加え、600mL/時で10分間投与 負荷投与:750mgを500mLに加え、33mL/時で6時間投与 維持投与:17mL/時で合計42時間投与(6時間の負荷投与後、残液を17mL/時で18時間投与 750mgを500mLに加え、17mL/時で24時間投与) <追加投与>血行動態不安定な心室頻拍あるいは心室細動が再発し、投与が必要な場合追加投与できる 1回の追加投与は125mgを100mLに加え、600mL/時で10分間投与 <継続投与(3日以降)>48時間の投与終了後、必要と判断された場合行うことができる 750mgを500mLに加え、17mL/時で投与する(600mg/24時間) 適宜増減あるいは追加投与 1日最大総投与量 1250mg 投与濃度

2.5mg/mLを超えない 5%ブドウ糖液に加え点滴静注

【警】設備の整った施設でのみ使用 致死的不整脈患者で、難治性かつ緊急を要する場合にのみ使用 重篤な心障害が報告されており、ときに致死的な場合もあるので、CCU、ICU等で心電図及び血圧の連続監視下で使用 血圧については可能な限り動脈内圧を連続監視 投与後 24時間以内に重篤な肝機能障害が生じ、肝不全や死亡に至る場合もあるので、慎重に観察、十分注意

【禁】本剤成分又はヨウ素過敏症 洞性徐脈、洞房ブロック、重度伝導障害(高度な房室ブロック、二束ブロック又は三束ブロック)、洞不全症候群があり、ペースメーカーを使用していない患者 循環虚脱又は重篤な低血圧のある患者 リトナビル サキナビル サキナビルメシル酸塩 インジナビル硫酸塩エタノール付加物 ネルフィナビルメシル酸塩 クラス Ia及びクラス III(ソタロール、ニフェカラン)抗不整脈薬 ベプリジル塩酸塩水和物 スパルフロキサシン モキシフロキサシン塩酸塩 エリスロマイシン(注射剤) ペンタミジンイセチオン酸塩 トレミフェンクエン酸塩 重篤な呼吸不全

【原禁】妊娠又はその可能性のある婦人 甲状腺機

能障害又はその既往

【重大な副作用】間質性肺炎 既存の不整脈の重度の悪化 Torsades de pointes 心不全 徐脈 心停止 血圧低下 肝炎 肝機能障害 黄疸 肝不全

【備考】Kチャネル抑制 ， ， 群作用をあわせ持つ

p303

レニン阻害剤

アリスキレンフマル酸塩 aliskiren fumarate

ラジレス Rasilez

ノバルティス

コード

薬価

錠:150mg

[ラシレ01]

168

【効】高血圧症

【用】1回 150mg 1日 1回 効果不十分な場合 300mg
まで増量可

【禁】本剤成分過敏症 妊娠又はその可能性のある
婦人 シクロスポリン

【重大な副作用】血管浮腫 高カリウム血症

【備考】直接的レニン阻害剤

p320

鎮咳・喘息治療剤 吸入用ステロイド剤

シクレソニド ciclesonide

オルベスコ Alvesco

帝人
薬価
コード

200 µg インヘラー 56 吸入用: 11.2mg/キット[オルハ 41] 2,294.8

【効】気管支喘息

【用】100 ~ 400 µg を 1 日 1 回吸入 (適宜増減) 1 日
最大量 800 µg (その場合は朝、夜の 1 日 2 回)

【禁】有効な抗菌剤の存在しない感染症、深在性真菌
症 本剤成分過敏症

【原禁】結核性疾患

【備考】プロドラッグ

p402

トキソイド・ワクチン類

ヘモフィルス b 型ワクチン

アクトヒブ ActHIB

第一三共
薬価
コード

注(劇):

[アクト 62]

-

【効】インフルエンザ菌 b 型による感染症の予防

【用】添付溶剤 0.5mL で溶解しその全量を皮下注 初
回免疫: 3 回、4 ~ 8 週間隔 医師が必要と認めた場
合、3 週間隔で接種可 追加免疫: 初回免疫後おお
むね 1 年の間隔をおき 1 回

【禁】発熱 重篤な急性疾患 本剤成分または破傷風
トキソイドによってアナフィラキシーを呈したことが
ある者 予防接種を行うことが不適当な状態にある
者

【重大な副反応】ショック アナフィラキシー様症状 け
いれん 血小板減少性紫斑病

【備考】破傷風トキソイド結合体

インターフェロン類

インターフェロンベータ-1a(遺伝子組換え)

interferon beta-1a(genetical recombination)

アボネックス筋注用シリンジ Avonex

バイオジェン

コード 薬価

注(劇): 30 µg/0.5mL/シリンジ [アホネ 61] 39,096

【効】 多発性硬化症の再発予防

【用】 1回 30 µg を週 1 回筋注

【警】 うつ病や自殺企図が報告されている、これら症状又は他の精神神経症状があらわれた場合には直ちに医師に連絡するように注意を与える 間質性肺炎があらわれることあり、十分観察、呼吸困難等があらわれた場合、直ちに医師に連絡するように注意を与える

【禁】 本剤成分又は他のインターフェロン製剤過敏症 妊娠又はその可能性のある婦人 重度のうつ病又は自殺念慮 非代償性肝疾患 自己免疫性肝炎 治療による管理が十分でないてんかん患者 小柴胡湯 ワクチン等生物学的製剤に対し過敏症

【重大な副作用】 うつ病 自殺企図 躁状態 攻撃的

行動 アナフィラキシー様症状 白血球減少 血小板減少 汎血球減少 てんかん等のけいれん性疾患 心疾患 自己免疫障害 重篤な肝障害 間質性肺炎 敗血症 甲状腺機能異常 注射部位壊死

その他の麻薬

フェンタニル クエン酸塩 fentanyl citrate

フェンタニル注射液「第一三共」 Fentanyl

第一三共

コード 薬価

注(麻)(劇):0.25mg/5mL/A [71363] 834

【効】(1)全身麻酔、全身麻酔における鎮痛 (2)局所麻酔における鎮痛の補助 (3)激しい疼痛(術後疼痛、癌性疼痛など)に対する鎮痛

【用】(1)[バランス麻酔]導入時:1.5~8 μ g/kg を緩徐に静注又は点滴静注 維持:間欠投与...25~50 μ g ずつ静注 持続投与...0.5~5 μ g/kg/h で点滴静注 [大量フェンタニル麻酔]導入時:20~150 μ g/kg を緩徐に静注又は点滴静注 維持:20~40 μ g/kg/h で点滴静注 <小児>[バランス麻酔又は大量フェンタニル麻酔]導入時:1~5 μ g/kg を緩徐に静注又は点滴静注 100 μ g/kg まで投与可 維持:1~5 μ g/kg ずつ間欠的に静注又は点滴静注 (2)1~3 μ g/kg を静注 (3)[静脈内投与]<術後疼痛>1~2 μ g/kg を緩徐に静注後、1~2 μ g/kg/h で点滴静注 <癌性疼痛>1日0.1~0.3mg から開始(適宜増量) [硬膜外投与]単回投与法:1回25~100 μ g を

硬膜外腔に注入 持続注入法:25~100 μ g/h で硬膜外腔に持続注入 [くも膜下投与]単回投与法:1回5~25 μ g をくも膜下腔に注入

【警】硬膜外及びくも膜下投与は、習熟した医師のみにより、投与が適切と判断される患者についてのみ実施

【禁】筋弛緩剤使用禁忌 本剤成分過敏症 呼吸抑制を起こしやすい患者 けいれん発作の既往 喘息患者 [硬膜外・くも膜下投与]注射部位又はその周辺に炎症 敗血症 [くも膜下投与]中枢神経系疾患(髄膜炎、灰白脊髄炎、脊髄癆等) 脊髄・脊椎に結核、脊椎炎及び転移性腫瘍等の活動性疾患

【重大な副作用】依存性 呼吸抑制 無呼吸 換気困難 血圧降下 不整脈 期外収縮 心停止 興奮筋強直 チアノーゼ ショック アナフィラキシー様症状

【備考】鎮痛作用はモルヒネの50~200倍

〔脳脊髄手術用洗浄灌流液〕

製 品 名	容量 (mL)	陽イオン mEq/L				陰イオン mEq/L		Glucose	P	浸透圧比	p H	薬価
		Na ⁺	K ⁺	Ca ⁺⁺	Mg ⁺⁺	Cl ⁻	HCO ₃ ⁻	g/L	(mmol/L)			
アートセレブ脳脊髄手術用洗浄灌流液 Artcereb 大塚	500	145	2.8	2.3	2.2	129	23.1	0.61	1.1	約1	約7.3	2,203
【効】 穿頭・開頭手術時の洗浄、脊髄疾患手術時の洗浄及び神経内視鏡手術時の灌流 【用】 穿頭・開頭手術及び神経内視鏡手術：4000mL 脊髄疾患手術：3000mL (適宜増減)												

《人工透析液》 〔腹膜透析液（連続携行式腹膜透析液）〕

				Na ⁺	Ca ⁺⁺	Mg ⁺⁺	Cl ⁻	Lactate ⁻	総浸透圧 mOsm / L	浸透圧比	ブドウ糖 g/dL
				(mEq / L)							
ダイアニール-N PD-2	Dianeal-N PD-2	ハ ^ク スター		132	3.5	0.5	96	40	346	1.1 ~ 1.2	1.36
1.5 液 :	薬価	薬価									
1.5L	785	UV71.0L	1525								
2.0L	1103	UV71.5L	1732								
5.0L	2606	UV72.0L	2019								
2.5 液 :											
2.0L	1149	UV71.0L	1596								
5.0L	2665	UV71.5L	1718								
		UV72.0L	2049								
ダイアニールPD-2	Dianeal PD-2	ハ ^ク スター							485	約1.6	3.86
4.25 液 :		0.5L	326								
ダイアニールPD-4	Dianeal PD-4	ハ ^ク スター		132	2.5	0.5	95	40	483	約1.6	3.86
4.25 液 :		1.5L	984								

UV7 : UVフラッシュツインバッグ

【効】慢性腎不全患者における腹膜透析

(PD-2は高Mg血症や代謝性アシト⁻シの改善が不十分な場合)

(PD-4は高Mg血症や代謝性アシト⁻シの改善が不十分で、かつ炭酸Caや活性型ビタミンD製剤の投与により高Ca血症のおそれのある場合)

【用】1回 1.5 ~ 2L を腹腔内に注入し、4 ~ 8時間滞液し効果期待後に排液除去する

体液過剰が 1kg / 日以下 : 1日 1.5液のみ3 ~ 4回行う

体液過剰が 1kg / 日以上 : 2.5液1日1 ~ 4回または4.25液1日1 ~ 2回使用と1.5液使用を組合せて、1日3 ~ 5 回行う

注入および排液速度 : 300mL / 分以下 (注入量、滞液時間、操作回数は適宜増減)

【禁】横隔膜欠損 腹部に挫滅傷または熱傷 高度の腹膜癒着 出血性素因 (尿毒症以外) 乳酸代謝障害の疑い

【重大な副作用】急激な脱水による循環血液量減少 低血圧 ショック

〔人工腎臓透析液〕

商 品 名	陽イオン mEq / L				陰イオン mEq / L			Glucose mg / dL	浸透圧 mOsm/L	薬 価
	Na ⁺	K ⁺	Ca ⁺⁺	Mg ⁺⁺	Cl ⁻	Citrate ³⁻	HCO ₃ ⁻			
カーボスター透析剤 Carbostar 味の素 L(9L):A剤(9L) B剤(11.5L) P:A剤(2,883g)B剤(1,030g)	140	2.0	3.0	1.0	111	2	35	150	298	L:2,593 P:1,092
<p>【効】慢性腎不全における透析型人工腎臓の灌流液として用いる (無糖の透析液では血糖値管理の困難な患者、K、Mg濃度の高い透析液では高K血症、高Mg血症の改善が不十分な場合、Ca濃度の高い透析液では高Ca血症を起こすおそれのある場合)</p> <p>【用】B液1容に対し水26容を加えて希釈、この希釈液34容に対してA液1容を加えて希釈して用いる 灌流液として150~300L用いる [P]A剤、B剤1包をそれぞれ精製水に溶かし10Lの水溶液(A液)、12.6Lの水溶液(B液)とする</p>										